

# なめがたでキラリ輝く「ひと」

農業の指導者である平塚実さん（新宮）



## 小<sup>こ</sup>城<sup>じょう</sup> 謙<sup>けん</sup>治<sup>じ</sup>さん (29歳)

### Profile

平成 28 年 1 月に本市に定住。来春の新規就農を目指し、ただいま勉強中。千葉県出身。妻と子で小牧に在住。

「この自然豊かな行方市で農業に従事できるのは、幸せなことだなと思います」と、はにかみながら話す小城さん。

来春の就農を目指し、新宮地区の北浦沿いに広がる田んぼで、今日もレンコンの収穫作業に精を出しています。

「私は子どもの頃から、自然がたくさんあるところで暮らしたいと思っていました。行方市は霞ヶ浦と北浦という大きな湖があり、緑が多くて環境も良く、心が安らぎます。もうすぐ3歳

になる娘と北浦湖畔を散歩するのが好きです」と小城さん。

千葉県内の大学を卒業後、水戸市内で就職した小城さんは、その仕事の関係で、レンコン農家の平塚実さん（新宮）と知り合います。いつか農業をやりたいと思っていた小城さんは、平塚さんの元へ何度も通い、農業の「弟子入り」を志願。約5年間のサラリーマン生活の後、昨年1月に行方市に転入し、平塚さんの指導を受けながら、レンコン栽培について日々学んでいます。

平塚さんは「彼とは縁があったのでしようね。私の元に来てくれて、よく頑張っていると思います。彼は真面目で努力家。農業経験ゼロからのスタートで新規就農は大変だと思うけれど、前職での経理などの経験も生かしながら、しっかりとやっていけると思うよ」と太鼓判を押します。

そして「この地域で農業を始めるなら、地域に根ざした人になってほしい。周りと共に生じていける人になってほしい」との平塚さんの思いを受け、小城さんは今年4月から行方市消防団

に入団し、地域のさまざまな活動に参加しています。地域の人たちから教わることも多く、こちらも日々勉強と小城さんは話します。

そんな小城さんに、これからのような生活をしていきたいですかと聞くと「周りの人たちの支えがあつてここまで来ましたが、就農に向けて不安も多いけれど、やる気はいっぱいです。行方市に根を張り、この地で家族と共に頑張っていきたいと思っています」とまっすぐなまなざしで話してくれました。



レンコンの収穫作業中

## スマホでもっと楽しめる！市報なめがた デジタルブック！

▼市報に登場するこのマークに注目！



市報に掲載されていない画像や動画をご覧いただけます。右のQRコードから無料アプリ(カタポケ)でご覧ください。



このアイコンが目印

デジタルブックは7言語に対応  
Delivering e-book in English  
电子书籍以中文简体字发布  
電子書籍以中文繁體字發布  
한국어 전자전송중  
ในระหว่างการจัดส่งหนังสือดิจิทัล  
Entregar e-book em Português

※ブラウザ版は音声読み上げや画像スライドショーには対応しておりません。無料アプリ(カタポケ)のインストールが必要です。